

令和 4 年度 宇都宮市立瑞穂野中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる人間を育成する。

(2) 具体目標（具体的な生徒像）

- 心身ともに健康で、気力あふれる生徒（強く）
- 自ら学び、創造性に富む生徒（賢く）
- 思いやりがあり、心豊かな生徒（明るく）
- 地域や世界に関心を持ち、未来を拓く生徒（拓く）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒が互いの個性を認めつつ、学習や行事、部活動などに目的をもって取り組む中で、自分のもつ良さに気づき、将来にわたって自分を高め、自分と社会の未来を拓いていこうとする生徒を育成する。

そのために、教職員は自己に与えられた使命を自覚し、自己研鑽に励み、ひいては保護者や地域から信頼される学校を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 生徒が安心して自分の成長と向き合うことができる公正で温かな学校づくりに努める。
- (2) 教職員は自己の使命と責任を自覚するとともに、常に自己研鑽に励み、専門職としての力量を高める。
- (3) 多様な生徒の存在を認識しつつ、生徒との人間的な触れ合いを深め、人権感覚を磨きながら生徒理解や指導方針に基づく指導を推進する。
- (4) 地域や世界とのつながりの中で生活していることを自覚し、身につけた力を地域や社会のために活用できる特色ある学校づくりと教育課程の編成に努める。
- (5) 学校の課題を明確化し、課題解決に向けて組織的に取り組む。
- (6) 生徒の社会的自立を促すために、創意ある教育課程の編成に努める。（キャリア教育の視点）
- (7) 9年間を通して、生きる力をはぐくむ小中一貫教育の最終段階として、学びを広げ深められる環境を整える。
- (8) 質の高い教育を目指して、学校業務の明確化、効率化や勤務時間を意識した働き方を推進する。（教職員の働き方に関する視点）

【瑞穂野地域学校園教育ビジョン】

9年間の連続した学びの中で、生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）を育てる小中一貫教育

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

教育基本法及び学校教育法その他の法令並びに学習指導要領の示すところに従い、本校教育目標の達成を目指し、生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成する。

(2) 留意点

- ・ 教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で再構築する。
- ・ 生徒指標「強く 賢く 明るく 拓く」を「生徒、教職員、保護者・地域」のそれぞれに対して、身につけたい力や役割を明確化したカリキュラムマネジメントを行う。
- ・ 小学校及び中学校が一貫した教育課程の下で、地域住民等と連携及び協力をしながら教育活動を行えるように努める。
- ・ 保護者や地域の声を学校評価等を通して把握し、教育課程の改善に生かす。
- ・ 地域の教育力を活用するなど、必要な人的又は物的な体制を確保する。
- ・ 教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図ることに努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>【 学 校 運 営 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が取り組むべき学校の課題を共通認識し、課題解決のために組織的に対処する。 ・業務改善を進め、生徒と向き合う時間の確保を目指す。 ・多様な専門スタッフと連携し、チームとして協力し合いながら指導にあたる。 <p>【 学 習 指 導 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 論理的に考え、思考を深めあう学習活動の推進 ○ 自主学習（家庭学習）習慣の定着を目指した指導の実践 ○ 目標の明確化と、つまづきを克服させる振り返り活動を取り入れた学習指導の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校課題に即した研究授業を通しての授業改善（含 ミニ研究授業） ・ 学力調査結果の分析に基づいた課題を組織的に解決するP D C Aサイクルの確立 <p>【 児 童 生 徒 指 導 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめがおきない、不登校を出さない指導の展開、保護者への学校の取組の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内対策会議等を活かした、組織的で迅速かつ継続的な対応 ・ S C, M S, 関係諸機関との連携 ○ 規範意識の育成と基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての生徒が自己肯定感の持てる学校づくりの推進 <p>【健康（体力・保健・食・安全）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定期健康診断・元気っ子健康体力チェック等の結果の有効活用 ○ 健康教育・食育を通した望ましい生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体力向上を目指した体育的活動の推進 ・ 交通安全指導の徹底

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生	<p>A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒ 教職員・生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が意欲的に授業に取り組めるよう、授業のねらいを明確にするとともに、積極的にグループ学習を取り入れ、学び合う態度を育成する。 ・理解の状況に応じた繰り返し指導や学習内容の習熟度の程度に応じた指導など、個に応じた指導を行うことで、進んで学習する態度を育成する。 	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答は、教職員が 97.2%、生徒が 94.1%であり、共に数値目標に達した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの場を多く取り入れたり、生徒が自分の思いや考えを言えたりする授業の雰囲気づくりに努めるなど、引き続き授業改善への取組を進める。
	<p>A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒ 教職員・生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の学校生活や多面的・多角的に考え、議論する工夫した道徳の授業を通して、自分なりの考えを言い合え、認め合える学級の雰囲気をつくり、思いやりの心を育てる。 ・行事での振り返りや帰りの会等で思いやりのある行動をとった生徒等の事例を紹介、称賛することで啓発していく。 	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は 91.7%であり、数値目標に達した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業や行事の振り返りの活動を通して、お互いを認め合える雰囲気を醸成する。

<p>生徒の姿</p>	<p>A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒ 教職員・生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に校則の見直しの検討を行い、規範意識の向上を図るとともに、生徒の主体的な活動を促していく。 ・生徒指導部会で示された方向について全教職員が共通理解を図り、同一歩調で指導を行い、きまりやマナーを守らせる。 ・できない生徒の言動を見過ごさない指導を適切に行うことにより、規範意識を高めていく。 	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒が 92.8%で数値目標に達したが、教職員が昨年度より 13.1%下降し 83.3%になり、数値目標には達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・きまりやマナーについて、教職員間の共通理解を図り、同一歩調で指導に当たるとともに、生徒会を中心とした取組を推進し、生徒自ら問題点や課題を見だし、改善していける主体的活動を支援する。</p>
	<p>A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒ 生徒・保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒があいさつしやすい環境をつくり、あいさつの大切さはもとより、あいさつの声が飛び交う明るい学校づくりの一端を担うという意欲をもたせる。 ○生徒会や部活動単位のあいさつ運動の充実を図る。 ○校内や地域学校園のあいさつ運動を充実させるため、地域協議会や PTA との連携をより進めたあいさつ運動を推進する。 	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒が 96.1%で数値目標に達したが、保護者が昨年度より 3%上昇し 89.8%になったが、数値目標には達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・時と場に応じたあいさつができるように、状況に応じて教師主導で指導するとともに、生徒主体のあいさつ運動や、地域学校園のあいさつ運動を充実させ、地域や保護者の方へのあいさつの習慣化を図る。</p>
	<p>A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動では、自己の生き方を考えさせるとともに、目標に向かって日々努力することや諦めずに粘り強く学習や運動に励み続けることの大切さを指導していく。 ・自己肯定感を高める活動や達成感を味わわせる学校行事を通し、目標に向かって粘り強く取り組む力を高める。 	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 87.4%であり、数値目標には達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・学習面・生活面ともに目標を設定させ、生徒一人一人の目標達成のために、あきらめずに粘り強く学習や運動に取り組むことができるよう指導を継続する。</p>
	<p>A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室や避難訓練、生活安全委員会・保健委員会の活動、保健体育の授業を通して、健康や安全についての意識を高める。 ・定期的な登下校指導、安全点検等を通して安全に生活できる環境作りに努める。 ・朝食をしっかりと取ることや給食を残さず食べること、バランスの良い食生活を心掛けること等を、委員会活動で呼びかけ、生涯を通して健康な生活を送ろうとする意識を高める。 	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 95.1%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 ・各委員会での活動を充実させることで、生徒自ら問題点や課題を見だし、健康や安全についての意識を高め、生活の改善行動につなげる。</p>

<p>A7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等の学習や学級活動を通して、互いを認め合ったり、協力し合ったりすることの大切さを学ばせるとともに、キャリア教育を通して、自分の夢や目標が明確になるよう指導していく。 ・地域の行事に積極的に参加を促し、人の役に立つ喜びを味わわせる。 ・1年生の「働く人に学ぶ」、2年生の「宮っ子チャレンジ」の機会を通じて、将来に向けて夢や目標を持たせる。 	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 80.6%であり、数値目標には達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・キャリア教育をさらに充実させ、生徒の夢や目標が実現するよう支援を継続する。 ・生徒会活動やボランティア活動を通し社会貢献の意識をさらに高める。</p>
<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、英語の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業などで積極的に ALT を活用し、言語活動の充実を図る。 ・ALT には授業中はもとより休み時間、給食、清掃においても英語でコミュニケーションをとるよう促していく。また、インタビューテストなどで生徒が積極的に英語を用いて活動できる時間を増やしていく。 	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 91.8%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒が英語を使い、コミュニケーション活動を多く行えるよう、授業内容を工夫すると共に、生徒会の行事等でも英語に親しむ機会を設ける。</p>
<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 85%以上 全体アンケート「生徒は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒ 保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>○総合的な学習の時間で「宇都宮学」を学び、宇都宮の良さを学ぶ探究活動の充実を図る。</p> <p>○地域の行事に参加を促し、宇都宮の良さを知る機会を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の食材や郷土食、宮っ子ランチを教材として取り入れ、郷土への理解を深めさせる。 	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・肯定的回答は、生徒が 86.9%で数値目標に達したが、保護者は 70.6%になり、数値目標には達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間での宇都宮学を教育課程上で年度の早期に位置づけ、授業参観等で保護者に周知を図る。また、地域行事に参加することで、宇都宮の良さを知る機会を増やすよう工夫する。</p>
<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育や総合的な学習の時間における調べ学習等で、ICT 機器の基本的操作や有効に活用する技能、図書等を活用する力を育成する。 ・各教科の授業の中で、chromebook を積極的に活用する。 ・授業等を通して、アプリを活用するのに必要な基礎的な知識や技能を身に付けさせる。 	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 89.5%で、数値目標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・多くの授業で chromebook を使用することで、生徒が自発的に学習のツールとして活用できる環境を作るとともに、学校図書館の利用を推進する。</p>

<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわり的心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒ 保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>○地域の福祉のまちづくりに協力し、地域の行事等で高齢者との交流の場をもったりし、高齢者の理解といたわる心を育てる。</p> <p>・道徳の授業を通して、障がいをもった方や高齢者への理解と共生への意識を高める。</p>	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 94.6%であり、数値目標に達した。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・道徳の授業や学校行事等を通し、高齢者をいたわる心を育てる。</p>
<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・新聞記事やニュースなどの情報から、環境問題や災害、事故等を取り上げ、身の回りに起こっている出来事に関心をもたせる。</p> <p>・生徒会活動や総合的な学習の時間で、SDGs についての理解を深める場を設けたり、学校生活で SDGs を意識させる掲示物等を作成したりし、生徒への啓発をする。</p> <p>・社会科、技術・家庭科、理科の授業の中で、「持続可能な社会」などについて、話し合い活動を取り入れることで関心をもたせる。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 83.5%で、数値目標に達しなかった。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒が環境問題に関心を持ち、学校生活で「持続可能な社会」の実現のための取組を行えるよう、授業や特別活動の内容を工夫する。</p>
<p>B1 生徒は朝の読書にまじめに取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、朝の読書にまじめに取り組んでいる。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 95%以上 全体アンケート「私は、朝の読書にまじめに取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 95%以上</p>	<p>・生徒が主体的に読書に取り組める環境整備に努めるとともに、読書活動の支援のあり方を検討する。</p> <p>・図書委員会による本の紹介を活発に行い、読書への興味関心を高める。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員が 97.2%で数値目標に達したが、生徒が 92.8%であり、数値目標に達しなかった。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 ・朝の読書や図書委員会の活動などを通して継続的な取組を行い、望ましい読書習慣の形成を推進する。 ・広報委員会の協力のもと朝読書前の放送を行い、落ち着いた読書環境をつくる意識の向上を図る。</p>

	<p>B2 生徒は自主学習ノートに前向きに取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、基礎・基本の定着のための自主学習ノートを実施し、適切な助言を与えるなど生徒の学力向上に努めている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 90%以上</p> <p>全体アンケート「私は、自主学習ノートに前向きに取り組んでいる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>○素晴らしい取組をしている自主学習ノートを積極的に紹介し、よりよい家庭学習の進め方や方法を広く周知する。</p> <p>○生徒会の学芸委員会を通して、欠かさず提出できた生徒表彰することで生徒の意欲を高める。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員が 94.4%で数値目標に達したが、生徒が 88.9%であり、数値目標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・家庭学習の習慣化と質の向上を図るため、努力を認め、学習の成果を実感できる声かけを行うなど、学級担任による粘り強い指導を継続する。</p> <p>B</p>
目 指 す	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 100%</p>	<p>・特別な支援を必要とする生徒について、個々の実情に合った支援計画を作成したり、ケース会議を実施したりし、年間を通して適切な支援ができるようにする。</p> <p>・校内支援委員会や教育相談部会を定期的に開催し、情報交換を行うとともに、SCの支援を積極的に取り入れる。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 94.4%であり、数値目標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・適切な支援を行うため、個別の支援計画の内容を充実させ、年間を通して有効に活用できるよう職員会議等で教職員の共通理解を図るとともに、校内支援委員会で見直しを行う。</p> <p>B</p>
校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 100%</p>	<p>・学級担任は、いじめは絶対に許さない毅然とした姿勢で学級経営を行う。</p> <p>・生徒会が中心となって行う「いじめゼロ集会」を通して、「いじめをしない・させない・見逃さない」という意識を持たせる指導を行い、いじめの未然防止に努める。</p> <p>・「いじめアンケート」では、いやな思いをしている生徒については迅速に対応し、早期解決に努める。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100%であり、数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒主体で、いじめをなくすための具体的な取組を行う機会を設定し、適切に支援していく。</p> <p>B</p>

<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人の生徒を大切にし、生徒がともに認め励まし合う学級経営を行っている。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 95%以上</p> <p>全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、生徒がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」⇒ 生徒の肯定的回答 95%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、保護者との電話連絡や家庭訪問をこまめに行い、SCやMSと情報を共有するとともに、市教育センター等関係機関との連携しながら指導していく。 ・教育相談部会を毎週開催し、情報交換及び支援策の検討を行い、共通理解のもと家庭と連携を図り支援していく。 ・別室教室の充実と、全職員による生徒への支援を行う。 	<p>【【達成状況】】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答は、教職員が100%で、生徒が95.1%であり、共に数値目標に達した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の良さが生きよう学級経営のために、教育相談部や家庭・各機関と連携を図る。 <p>B</p>
<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」⇒ 教職員の肯定的回答 100%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内支援委員会等で、外国人生徒の実態を把握し、全教職員の共通理解のもと適切な支援を行っていく。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は94.4%であり、数値目標に達しなかった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、外国人生徒の実態に応じた適切な支援を行い、情報交換をしながら円滑に行えるよう努める。 <p>B</p>
<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、今の学校が好きです。」⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営や教育相談を充実させ、心の通じ合う「居がい」のある活気に満ちた学校づくりを推進する。 ・生徒にとって居がいのある学校づくりを目指し、より魅力的な教育活動の推進に努める。 ・生徒会活動をより活性化し、教師主導でなく、生徒の自治的・自立的活動を促す。 ・Q Uを活用し、自己肯定感の醸成を図る。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は87.7%であり、数値目標に達しなかった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の生徒の心に寄り添うことを意識して、学級経営や教育相談にあたる。 ・生徒の主体性を大切に生徒会の運営を継続して進める。 ・学校・学年行事等で一人一人が活躍する場面を増やせるように努める。 <p>B</p>

<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲を喚起するとともに、「ねらい」「学び合い」「まとめ」「振り返り」を学習活動に適切に位置付け、「分かる・できる授業」づくりに努める。 ・授業改善や評価計画の充実を図る「一人一授業」公開を実施し、教員の授業力向上を図る。 ・習熟度別学習T・Tなど指導方法を工夫し、個に応じたきめ細かい指導を行い、基礎・基本の定着に努める。 ・家庭学習の指導やAI学習ドリルの活用などを通じて、基礎学力を定着させる。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は 94.9%であり、数値目標に達した。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修やミニ研究授業とその後のグループによる授業研究会の実施を通して職員の授業力向上に努める。
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校長を中心とした「チーム学校」の考えのもと、ミドルリーダーを中心に、お互い協力し合いながら業務に取り組む職場環境を構築していく。 ・一人一人が「風通しの良い職場」を意識することで、情報の共有化を図るとともに協力しやすい雰囲気を作る。 ・SC、SSW、MS等と連携して課題の解決に取り組む。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は 91.7%であり、数値目標に達しなかった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チーム学校」の考えのもと、様々な学校課題に組織的に対応するとともに、情報の共有化を図り、協力し合いながら業務に取り組むなど、教職員の協働意識の向上に努める。
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒ 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職は教職員の出勤時刻を把握するとともに、時間外勤務の多い教職員に対しては、管理職が個別に面談し、最終出勤時刻を設定するなど勤務時間の適正化を指導、助言していく。 ・みずほネットによる業務の効率化、業務の精選、部活動方針の徹底など、教員の勤務時間の縮小に取り組む。 ・校務運営委員会や学年主任会、職員会議を活用して、学校行事の円滑な運営や計画的な学年経営を行う。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は 72.2%であり、数値目標には達しなかった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュデーを月1回設け、職員室前方ホワイトボードに掲示するとともに、事務の簡略化と業務内容の精選に努める。
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている。」 ⇒ 保護者・地域の肯定的回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育推進主任を中心に、学校間の情報交換や交流・連携を推進するために、各部会の運営方針を明確にし、分科会活動の充実を努める。 ・小中の連携を一層図り、「地域学校園たより」を発行したり、学校ホームページで情報を発信したりするなど、保護者への啓発を行い、小中一貫教育への周知を図る。 	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答は、保護者が 81.5%、地域が 100%であり、地域は数値目標に達したが、保護者は 3.5%及ばなかった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校園だよりの発行、学校ホームページによる情報の発信に加え、保護者への啓発及び小中一貫教育への周知を図る。

<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒ 保護者・地域の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○地域の蛍水会の協力を得ながら、ホタルの飼育を行っていく。</p> <p>○食農体験学習では、地域の農家の協力を得ながら、田植えからお米の収穫までの活動を行っていく。</p> <p>○社会体験学習を通して、地域の企業等と連携しながら、キャリア教育を進める。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、保護者が 84.4%で、地域が 100%あり、共に数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒が地域の人々の豊かな人間性や豊富な知識から多くのことを学ぶ機会として、地域の協力を得ながら、食農体験学習やホタルの飼育、社会体験学習等を実施する。</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒ 保護者・地域の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○地域が目指す生徒像(あいさつを中心にコミュニケーションのとれる生徒、失敗を恐れずにチャレンジする生徒、ルールやきまりの本質を知る生徒)の実現に向け、魅力ある学校づくり協議会を活性化させ、家庭や地域を協働した学校づくりの推進に努める。</p> <p>○地域人材や学習ボランティアによる「地域未来塾」を通して、学校と地域が連携・協働した学習支援の充実に努める。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、保護者が 84.4%、地域が 100%であり、共に数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 ・地域が目指す生徒像の実現に向け、魅力ある学校づくり協議会を活性化させるとともに、学校と地域が連携・協働した学習支援「地域未来塾」の充実に努める。</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒ 教職員肯定的回答 95%以上</p>	<p>・安全点検を毎月確実にを行い、修繕箇所を早めに修繕する。</p> <p>・教職員の危機管理意識を高めることで、危険な場所の早期発見と迅速な改善に努める。</p> <p>・整理整頓に努め清掃が行き届いた校舎や体育館の維持、管理に努める。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、教職員が 97.2%で、地域が 100%あり、共に数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 ・安全点検を確実にを行い、修繕箇所や危険な場所を早期発見し、迅速な改善に努める。</p>
<p>A25 学校は、学習に必要な ICT 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「生徒は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒ 生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・学習指導の効果を高める ICT 機器の活用方法やタブレットを活用した学習活動についての校内研修を実施する。</p> <p>○地域協議会を中心とした図書ボランティアの協力を得ながら、図書室の環境を整えていく。</p> <p>・希望図書のアンケートを活用し、必要な本を取り揃えていく。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 89.5%であり、数値目標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・ICT 支援員と協力し、1人1台端末を含めた ICT 機器活用の充実を図る。</p> <p>・図書ボランティア活動を充実させ、図書室利用者の増加を目指し、環境整備に努める。</p>

	<p>B3 学校はいじめのない明るく楽しい雰囲気づくり、人間関係づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、いじめのない明るい楽しい雰囲気づくり、人間関係づくりに努めている。」 ⇒ ◎保護者の肯定的回答 90% 上 全体アンケート「私は、いじめをなくすなど、人間関係づくりに努力している。」 ⇒ ◎生徒の肯定的回答 90% 上</p>	<p>・「学校いじめ防止基本方針」を基に、いじめ対策を更に強化し、学校のホームページ、学校だより、保護者会等で積極的に周知・説明していく。</p> <p>・生徒会が中心となって「いじめ撲滅キャンペーン」を展開する。</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、保護者が 85.2%、生徒が 93.3%であり、保護者は数値目標に達しなかったが、生徒は数値目標に達した。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒主体で、いじめが起きないための、明るく楽しい学校づくりや生徒同士の人間関係づくりを支援していく。</p>
本校の特色・課題等	<p>B4 教職員は、地域のよさを自覚し、郷土への親近感がもてる生徒を育成している。 →地域の行事への生徒の参加等を支援し、地域の方々のふれあいを通して、そのよさを自覚し、郷土を愛する心情を育てている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、地域の良さを自覚し、郷土への親近感がもてる生徒を育成している。」 ⇒ ◎保護者・地域住民の肯定的評価 90 以上 全体アンケート「私は、この地域が好きである。」 ⇒ ◎生徒の肯定的評価 90 以上</p>	<p>○地域との関わりの中で、地域行事への積極的な参加を促し、地域貢献できる生徒の育成に努める。年間を通したボランティア募集の予定を各教室に提示し、計画的に参加できるようにする。</p> <p>○PTAや地域行事への生徒の積極的な参加を促し、瑞穂野のよさを再認識させる。</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答は、保護者が 80.6%、生徒が 92.8%、地域が 100%であり、生徒と地域は数値目標に達したが、保護者は数値目標に達しなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・クリーン活動やホタルの集いなど、地域行事への積極的な参加を促し、地域に貢献できる生徒の育成に努める。 ・地域行事に全生徒に希望を取り、ボランティアとして生徒を参加させることで地域の役に立つ経験を積ませ、地域の一員として育まれていることを実感させる。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・宇都宮市の共通項目となる 25 項目（A1～A25）において、調査した全対象者（教職員・保護者・地域住民・生徒）から回答を得た全 75 項目のうち、肯定的回答の割合が 80%を上回った項目は 67 項目（全体の 89.3%）であった。市の平均を上回っている項目が 53 項目（全体の 70.6%）であることから、本校の教育活動が全体的に肯定的に受け止められていると捉えられる。

・教職員評価、保護者評価、地域評価（質問項目にないものは除く）、生徒評価の全てで市の平均を上回る（同率を含む）ことができた項目は、「A9—生徒は、宇都宮の良さをしている」、「A10—生徒は、ICT 機器や図書等を学習に活用している」、「A15—教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている」、「A17—学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」、「A18—教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている」の 5 項目であり、昨年度より 1 項目増えた。課題としては、「A4—生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」が、昨年度とは対照的に教職員・保護者・地域住民で市の平均を下回った。あいさつが今までより出来なくなってきたと感じる人が増えた表れであると思われる。

る。教職員のあいさつの指導に対する意識を高めていく。

・教職員評価では、市内共通 25 項目のうち、15 項目で市の平均を上回ることができた。しかし、「A20—学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」の項目では 72.2%の肯定的回答が低かったため、教職員の働き方において業務の効率化等の改善を継続して取り組む必要がある。

・保護者評価では、市内共通 19 項目のうち 10 項目が、市の平均を上回る結果となった。昨年度より 4 項目増えた。また、13 項目が 8 割を越えていることから。保護者は学校の教育活動に概ね理解を示しながら、学校と協力して生徒の教育にあっていることがうかがえる。

・地域住民の評価では市内共通 11 項目中、市の平均を上回った項目は 9 項目となり、その全てが 100%の肯定的回答となった。地域の方からは、高い評価をしていただくことができた。

・児童生徒の評価では、市内共通 20 項目中 19 項目で市の平均を上回る結果となった。特に高かった項目は「A8-生徒は英語を使ってコミュニケーションをしている。」(生徒評価 91.8%, 市平均より+6.7 ポイント)「A9-生徒は宇都宮の良さを知っている。」(生徒評価 86.9%, 市平均より+5.2 ポイント)「A10-生徒は ICT 機器や図書等を学習に活用している。」(生徒評価 89.5.%, 市平均より+7.2 ポイント)「A12-生徒は、持続可能な社会について、関心をもっている」(生徒評価 83.5.%, 市平均より+7.5 ポイント)「A25-学校は、学習に必要な ICT 機器や図書等を整えている」(生徒評価 89.5%で市平均より+7.2 ポイント)であった。総合的な学習の時間に「宇都宮学」を取り入れ学習してきた成果であったり、SDGs の推進や 1 人 1 台端末を教員、生徒が積極的に活用してきた結果であると捉えられる。「A21-学校は、小中一貫・地域学校園の取組を行っている」は、小中合同のあいさつ運動を今年度から再開することができたが今年度も生徒評価が 59.6%と低く、活動内容の理解を深めるように対策を講じる必要があるため、小中学校間の連携を密にして、取組の様子や成果を一層発信していきたい。

【学校運営部会】

・食農体験、蛍の飼育、図書や生花など、地域の方々によるボランティア活動が定着しており、今後も学校と地域の連携の中で、心豊かな生徒の育成に努めていく。

・今後も学習の成果や生活の様子を中心に学校だよりやホームページ等で積極的に発信していく。

・働き方改革に向けて、教職員の意識改革及び業務の改善に積極的に取り組んでいく。

・学年だけでなく、縦、横の連携に図り、教職員の協働意識の向上に努める。

【生徒支援部会】

・今年度も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策のため対外的な活動が制限されることが多かった。特に P T A や地域と協力して取り組む挨拶運動や、行事の中で高齢者と関わることが出来ず、次年度も同じ状況が考えられる。

・挨拶やきまりやマナーについては、教職員の評価が大きく下がってしまい、生徒の挨拶や規範に対する意識の低下がうかがえる。次年度は教師主導で意識改革を図り、生徒自ら挨拶の重要性を理解するとともに、規範意識向上させようとする態度を身に付けさせたい。

・健康や安全に関しては、今年度同様に新型コロナウイルス感染症対策を中心に、安全で健康な学校生活を送れるように支援するとともに、安全な登下校の励行のために、登下校指導や交通安全教室の開催等を行っていく。

・いじめ対策については、生徒会を中心とした活動を展開し、生徒自らいじめに立ち向かう強い意志を持てるように支援する。

・生徒一人一人が夢や希望を持って学校生活を送れるように、学習指導部（特にキャリア教育）と連携して支援に当たる。

【学習指導部会】

・行事やテストなどに向けて、生徒に長・中・短期それぞれのスパンで目標を立てさせ、中間評価でのチェックや目標の見直しなど PDCA サイクルによって目標達成に向けて取り組む意識を向上させる。

・「宇都宮学」を学習していることを保護者に知ってもらうために、授業参観等で見ってもらう機会を作る。

・総合的な学習の時間などに、資料の収集の場面で、インターネットだけでなく図書活用の場면을積極的に取り入れる。

・1 人 1 台端末の積極的な活用を図り、生徒が自発的に学習ツールとして活用できる環境づくりをする。

・SDGs を意識した学習活動を積極的に取り入れたり、掲示物等での啓発活動も積極的に行ったりする。

・学級や学年で、生徒が生き生きと活躍できるような場面を増やすために、学級・学年行事に力を入れるよう努める。

7 学校関係者評価

- ・生徒のアンケートの結果が肯定的な意見が多いのは、良い結果だと思います。
- ・帰りの会でクラスの友達の良いところを紹介するのは、とても良いことだと思います。
- ・クロムブックを授業でも活用していると思いますが、学校を休んだ日に担任の先生より、次の日の予定などをアップしてくれるので助かります。
- ・先生と子供が信頼関係を築いているので、年に数回行われる教育相談以外でもいつでも相談ができる。
- ・友だちの自主学習ノートを紹介することにより、自分では気付けない学習方法が分かるので、良いと思います。
- ・瑞穂野中の生徒は、よくあいさつをしてくれます。
- ・「安全」は何より優先されなければなりません。「安全」に関しても、学校・地域で取り組むことも。例えば、ヒヤリがあった場所や場面の抽出等。
- ・小中一貫教育について、具体的な活動内容を知りたい。
- ・あいさつや思いやりについては、コロナの影響が大きいと思います。保護者にしてもコロナ前を知っているから、評価が低くなってしまったのではないのでしょうか。5類になってから慌てず少しずつ活動していけば良いと思います。
- ・先生の評価が低いのは理想が高い？これが生徒の負担にならないよう指導をお願いします。
- ・コロナ禍で多くの行事が中止になり、活動が少ない中で、朝・夕のあいさつから活動に取り組み、また、少しずつ思いやりの心を育ててほしいと思います。
- ・コロナ禍の中で、いろいろな行事が減り、地域とのつながりが薄くなってしまったのではと心配していましたが、生徒や地域の皆様は肯定的な意見を述べており、安心しました。保護者の立場として、やはり防犯、明るい地域づくりには、子どもたちと高齢者、地域の方たちの関りが大切だと思うので、今後も続けていくと嬉しいです。
- ・生徒のために地域の方がいろいろ意見を出し合ってくれる協議会はとてもありがたいと思いました。
- ・A21「学校は小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている。」について低評価ですが、子ども同士の交流の機会を作ってみてはどうでしょうか？例えば、同じ田で一緒に田植えをすとか、中学生が小学校に出向いてお話をすとか。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・全体アンケートでは、保護者・地域住民ともに昨年度よりも評価が上がっており、本校の教育活動や学校運営について肯定的に評価されていると捉えられる。次年度も活動の見直しや工夫をしながら更なる充実を図っていききたい。
 - ・次年度は「つながる 優しさ 思いやり」のスローガンのもと、豊かな体験を通して、豊かな心を育てる教育に力を入れていく。特に、道徳科の授業の中で思いやりについて考え、教育活動の中で実践力を身に付けさせ、多くの場面で思いやりのあふれる学校づくりを行う。
 - ・生徒はきまりやマナーを守って生活していると考えられるが、教職員・地域住民の評価が市の平均を下回っている。学校全体で、決まりやマナーを守った落ち着いた雰囲気を持続できるよう指導を強化していく。また、生徒会中心の朝のあいさつや小中でのあいさつ運動など通して、人間関係のよりよい構築のためにはあいさつが不可欠であるという意識を高める。
 - ・「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業を目指し、ICTを活用した1人1授業や研究授業等で授業を公開したり、研修会を行ったりして更なる授業力の向上に努める。
 - ・いじめ対策については、教職員(100%)・地域住民(100%)・生徒(96.7%)と高い評価となった。教職員の意識的な対応や教育相談の充実、生徒会を中心とした「いじめゼロ集会」「人権集会」などの継続的な取組の成果と思われる。今後も継続して取り組んでいきたい。しかし、保護者の評価が78.5%と8割を切っているため、いじめ対策について、保護者会、学年だよりなどを通じて周知・説明していく。
- 地域学校園の小中で連携して9年間を見据えた指導を行い、他者と関わり合いながら、たくましく成長する生徒を育てていく。小中一貫教育については、「小中一貫だより」の発行、ホームページでの関連内容の紹介等で活動を理解してもらうよう努めていきたい。
- ・働き方改革に向けて、行事の見直しや教職員の勤務時間の意識改革、及びリフレッシュデーの実施など、一人一人が業務改善に積極的に取り組んでいく。
 - ・社会がめまぐるしく変化していく中で、学校からの情報を積極的に発信し、保護者・地域住民・学校関係者等の多くの方々の協力を得ながら「チーム瑞穂野」を推進していく。